

日野市地域密着型サービスの現状と課題について

1. 地域密着型サービスとは

☞ 高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活を継続できるようにする観点から、原則として日常生活圏域内で提供されるサービス。区市町村が事業者の指定を行う。

☞ また、公平・公正の観点から、地域密着型サービスの指定を行う等の場合は、被保険者その他の関係者の意見を反映させるしくみ。

2. 日野市の現状

	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	看護小規模多機能型 居宅介護
設置数	1か所	1か所
1施設当たりの要介護者数	6,321人/(13位)	6,321人(11位)
第4期計画	日野市の課題として、『供給も不足気味』と明記あり。 計画整備数については、記載無し。利用者数は増加を見込んでいる。	計画整備数については、記載無し。利用者数は増加を見込んでいる。
第5期計画アンケート	やや不足：7/34 不足：10/34	やや不足：10/34 不足：10/34
【参考】東京都第8期計画	都内でも積極的に普及させる必要あり。	

3. 課題

「2.日野市の現状」のとおり、不足気味。

4. 地域密着型サービスの指定について

(定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護等)

☞ 地域のサービス需要、事業者の参入動向等を注視しながら、必要に応じて整備。

☞ その際は、地域密着型サービス運営委員会に議題として提出する。